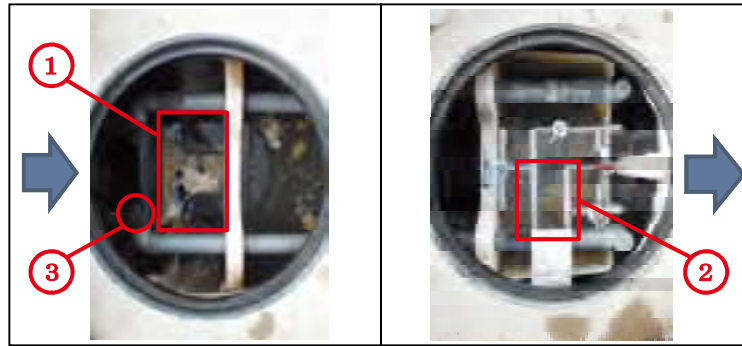


性能評価型(事例18) 循環水量停止による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 5人槽 逆洗設定1日・2回・5分(移送量6~9ℓ/分) 循環水量(1.4~2.1ℓ/分)

事例番号	18		浄化槽メーカー	フジクリーン工業㈱		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	CS		
法定検査日	平成 24 年 11 月 5 日		人槽	5人槽	使用人員	6人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	1未満	0	—	0	透視度	16度
堆積汚泥厚(cm)	50	21	—	17	DO	0.3 mg/ℓ
透視度(度)	9	12	—		pH	7.2
法定検査からの状況連絡・指示内容	槽内状況	各室のスカムの発生が少なく堆積汚泥厚が多い。 設定状況:循環水量 1.0ℓ/分 逆洗:1日1回5分(16ℓ/分) 人員比高く水の使用が多い。 日平均汚水量 1.42m ³ /日 担体流動槽内にスライム発生あり。 採水時間 9:30				
	対策	処理水槽の堆積汚泥厚が17cmと多い為、汚泥移送を実施する。 担体流動槽内のスライム除去の為、移送を停止して手動逆洗を実施する。 処理水透視度が回復するまで循環水を停止する。				
保守点検からの措置返信内容	11月8日	指示通り、調整及び対処する。 循環水を停止し、手動逆洗20分実施後、汚泥移送行う。			透視度	16度
					DO	0.2 mg/ℓ
					pH	7.2
	11月22日	手動逆洗20分実施後、汚泥移送。スライム発生無し。 処理水槽堆積汚泥厚 8cm メスシリンダー測定37% 処理水槽の堆積汚泥が減少する。			透視度	18度
				DO	0.6 mg/ℓ	
				pH	7.1	
12月6日	透視度回復しました。 処理水槽堆積汚泥厚 3cm メスシリンダー測定28% 次回保守点検まで循環水は停止で調整。			透視度	31度	
				DO	1.1 mg/ℓ	
				pH	7.0	

【ポイント】



① 1室スカム厚1cm未満(少ない)
堆積汚泥厚50cm(多い)
固液分離機能低下。

② 担体流動槽内にスライムが付着。
DOが低下している。(0.3mg/ℓ)
測定箇所:処理水槽水面から60cm

③ 逆洗終了前の移送汚泥の状況
30分経過後60%(多い)